

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001351010 維持管理課道水路管理係

事務事業 02762 道水路管理事務

所属長名 早水 義朗

担当者 都築 博幸

電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保			
事務事業	005	道水路管理事務			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	道路法、安城市法定外公共物の管理に関する条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・道路管理事務 ・不法占用処理事務 ・水路管理事務 ・道路台帳管理事務				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	道水路、橋りょう等の占用及び承認工事の許認可に関すること、道水路の用地に関すること、屋外広告物に関すること、狭あい道路拡幅事業に関すること、道路台帳管理等の事務処理を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		100,090	85,503	101,095
事業費		43,390	54,003	54,895
	国庫支出金	2,538	3,550	4,500
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	47	42	24
	一般財源	40,805	50,411	50,371
人件費計		56,700	31,500	46,200
	正規（人）	9.00	5.00	7.00
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、市有地払い下げ、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務	道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、市有地払い下げ、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務	道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、市有地払い下げ、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351010 維持管理課道水路管理係
事務事業 02762 道水路管理事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	道水路の管理者として必要な事務です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	道水路の管理者として必要な事務で多くのニーズがあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	道路占用等の電子申請を行い効率化を図っています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	道水路の管理者として適正な事務です。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	本事業は、道路管理者として行うべき必要な事業です。今後も適正な事務処理を行っていく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001351020 維持管理課予防保全係

事務事業 02763 放置自転車対策事業

所属長名 早水 義朗

担当者 柴田 浩志

電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保			
事務事業	006	放置自転車対策事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市自転車等の放置防止に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	駅前広場、道路等を通行する人が
目的	安全で良好な通行機能を確保できるようになります。
手段	自転車等の放置禁止区域において、公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、市民生活の安全を図るとともに良好な都市環境を保持します。
事務内容	放置自転車撤去・告示・処分、放置自転車台帳作成、放置自転車防犯登録照会、引取通知書発送、リサイクル自転車業務、放置自転車実態調査、放置自転車クリーンキャンペーン、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		21,131	22,068	22,972
事業費	事業費	12,941	13,878	14,392
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	65	30	40
	一般財源	12,876	13,848	14,352
	人件費計	8,190	8,190	8,580
	正規（人）	1.30	1.30	1.30
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（9箇所）	放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（9箇所）	放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（9箇所）

事務事業評価シート（2 / 2）

2 頁
令和 3 年 8 月 18 日
13 時 48 分 39 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02763 放置自転車対策事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
通行機能障害による苦情件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
放置自転車移動台数	台	200.00	200.00	200.00
		165.00	102.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由		市が条例に基づき実施しています。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由		放置自転車の移動台数が継続して一定量あります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由		目標どおりの進捗でした。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由		移動台数が継続して一定量あるため、業務の効率化に努めます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由		他市も放置禁止区域を条例で定めています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	自転車等放置禁止区域内において、公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、市民生活の安全を図るとともに良好な都市環境を保持することができました。また、少数の放置自転車が多くの放置自転車を誘発し、現状へ復旧させるのに多くの労力、経費、期間を要することから、引き続き事業を継続する必要があります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02764 駅施設管理事業

所属長名 早水 義朗
担当者 柴田 浩志
電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5 Kの分類	003	経済			
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）			
施策の方針	001	10都市基盤（市街地）その他			
事務事業	002	駅施設管理事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	駅施設及び駅前広場の利用者が
目的	安心・快適に利用できるようになります。
手段	鉄道利用する通勤者等を始め、駅施設及び駅前広場の通行者が、安心・快適に利用できるよう施設設備等を維持管理します。
事務内容	安城駅前デッキ等の駅関連施設の保守管理清掃、タクシープールの水道料金の請求、安城駅前デッキ及び三河安城連絡通路の利用許可、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		82,606	88,809	184,565
事業費		75,046	81,249	176,645
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	104	19	20
	一般財源	74,942	81,230	176,625
人件費計		7,560	7,560	7,920
	正規（人）	1.20	1.20	1.20
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	安城駅前デッキ、三河安城駅連絡通路等の管理清掃 駅前トイレの清掃 駅前広場樹木草花の管理	安城駅前デッキ、三河安城駅連絡通路等の管理清掃 駅前トイレの清掃 駅前広場樹木草花の管理	安城駅前デッキ、三河安城駅連絡通路、新安城駅自由通路の管理清掃 駅前トイレの清掃 駅前広場樹木草花の管理 三河安城駅2号駅前広場舗装改修工事

事務事業評価シート（2 / 2）

4 頁

令和 3年 8月18日
13時48分39秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02764 駅施設管理事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
駅関連施設の管理瑕疵による事故件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
駅関連施設での事故、負傷件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市が所有する施設のため、管理を行います。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	多くの駅利用者及び駅前広場通行者が利用する施設です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	目標どおりの進捗でした。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	施設の修繕は汎用性のある材料を利用し、費用削減に努めます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	駅前の施設を保全するため、適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	J R 2 駅、名鉄 6 駅の広場や通路の清掃並びに植栽、エレベーター、便所等の維持管理を行い、鉄道を利用する通勤者等を始め、駅施設及び駅前広場の利用者が、安心して快適に通行・利用できるよう、引き続き施設等の維持管理を継続する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02765 自動車・自転車有料駐車場事業

所属長名 早水 義朗
担当者 柴田 浩志
電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	002	低炭素社会の実現			
事務事業	003	自動車・自転車有料駐車場事業			
事業期間	昭和48年度～				
実施方法	全部委託				
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市有料駐車場の設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・自動車駐車場運営事業 ・自転車駐車場運営事業				

【事業分析】

対象	鉄道利用の通勤通学等の駐車場利用者が
目的	便利で安心して自動車・自転車駐車場を利用できるようになります。
手段	環境にやさしいパークアンドライド、サイクルアンドライドとして、通勤者等の駅周辺を中心とした市営駐車場・駐輪場の利用を推進するため、自動車・自転車駐車場の管理運営を行います。
事務内容	月報報告、収入管理、指定管理者連絡調整会議、年度協定締結、事業計画書作成、決算事務、公営企業決算状況調査、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		94,895	98,292	164,517
事業費		86,705	90,102	155,937
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	86,705	90,102	155,937
人件費計		8,190	8,190	8,580
正規（人）		1.30	1.30	1.30
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
【事務事業活動実績】	収容台数 1,231台 指定管理委託	収容台数 1,231台 指定管理委託	収容台数 1,231台 指定管理委託 安城駅西駐車場東棟エレベーター制御装置更新、精算機改修

事務事業評価シート（2 / 2）

6 頁
令和 3 年 8 月 18 日
13 時 48 分 39 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02765 自動車・自転車有料駐車場事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
有料駐車場の管理瑕疵による事故件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
有料駐車場利用率	%	90.00 102.95	90.00 77.26	90.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		駅周辺の駐車場需要を満たすため、市で補完する必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		利用台数は前年と比べ減少しましたが、ニーズは充分にあります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標通りの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		駐車場利用率は目標を下回りました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		指定管理者制度を導入済です。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		他市と比較し料金設定は適正な水準です。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	鉄道利用の通勤通学等の利用者が、便利で安心して自動車・自転車駐車場を利用できるようにするため、環境にやさしいパークアンドライド、サイクルアンドライドを推進し、通勤者等の駅周辺を中心とした市営駐車場・駐輪場の利用を促進するため、自動車・自転車駐車場の管理運営を行う必要があります。 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車・自転車共に、駐車台数及び駐車料金収入とも前年と比べ減少となりましたが、市民ニーズは充分にありますので、今後とも利用者が便利で安心して自動車・自転車駐車場を利用できるようにするため、適切な駐車場の管理運営を行っていく必要があります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001351020 維持管理課予防保全係

事務事業 02766 有料駐車場事業消費税事務

所属長名 早水 義朗

担当者 柴田 浩志

電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	002	低炭素社会の実現			
事務事業	004	有料駐車場事業消費税事務			
事業期間	平成12年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	消費税法				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	有料駐車場の使用料収入に関して、消費税法に基づき申告・納付を行います。 ・課税売上と課税支出の見込みの検討 ・消費税及び地方消費税の確定申告、中間申告

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		13,638	17,428	13,821
事業費	事業費	13,008	16,798	13,161
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	13,008	16,798	13,161
	人件費計	630	630	660
	正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	確定申告 中間申告	確定申告 中間申告	確定申告 中間申告
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02766 有料駐車場事業消費税事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	消費税法に基づき申告・納付を行います。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	駐車場財政の健全性を保持する必要があるため。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	消費税法に基づき適切に申告・納付を行います。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	消費税法に基づき適切に申告・納付を行います。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	有料駐車場事業の消費税及び地方消費税の確定申告、中間申告に関する事務であり、適切に事務を行う必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価 所属長名 早水 義朗

所属 0001351020 維持管理課予防保全係 担当者 柴田 浩志

事務事業 02767 有料駐車場事業債償還事務（元金・利子） 電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画次数	02 第 8 次安城市総合計画				
5 Kの分類	002 環境				
項目（施策）	001 3 環境				
施策の方針	002 低炭素社会の実現				
事務事業	005 有料駐車場事業債償還事務（元金・利子）				
事業期間	昭和48年度 ～ 令和 6年度	52 年間			
実施方法	直営				
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	有料駐車場事業債の元金・利子償還事務

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		23,232	23,232	23,263
事業費	事業費	22,602	22,602	22,603
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	22,602	22,602	22,603
	人件費計	630	630	660
	正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	有料駐車場事業債の元金・利子償還事務	有料駐車場事業債の元金・利子償還事務	有料駐車場事業債の元金・利子償還事務
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02767 有料駐車場事業債償還事務（元金・利子）

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	有料駐車場で財源確保が必要です。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	施設の利便性と安全性を確保するため必要です。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	適切に事務を行います。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	適切に事務を行います。				

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	本事業は、過年度に実施した駐車場施設改修工事の事業債の償還金及び利子を償還する事業であり、適切に事務を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001351020 維持管理課予防保全係

事務事業 02770 橋りょう維持管理事業

所属長名 早水 義朗

担当者 柴田 浩志

電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	004	6 都市基盤（交通）			
施策の方針	004	安全、安心、快適な道路交通環境の実現			
事務事業	002	橋りょう維持管理事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	道路法施行規則				
備考	令和 3 年度の組織改正により、土木課道路建設係から維持管理課予防保全係へ所管が変わりました。				

【事業分析】

対象	道路施設の橋りょうが
目的	道路橋の老朽化への予防的な修繕及び計画的な架け替えにより、係る費用の縮減と道路橋利用者への安全性と信頼性を確保します。
手段	道路橋の定期的な点検と予防的な補修を実施します。
事務内容	点検業務、補修設計・工事

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		29,002	57,677	115,238
事業費	事業費	25,159	54,779	105,800
	国庫支出金	10,750	16,940	34,100
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	14,409	37,839	71,700
	人件費計	3,843	2,898	9,438
	正規（人）	0.61	0.46	1.43
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	橋りょう修繕 N=2橋 橋りょう点検 N=98橋	橋りょう修繕 N=6橋 橋りょう点検 N=98橋	橋りょう修繕 N=1橋 橋りょう点検 N=99橋

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02770 橋りょう維持管理事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
橋の不良により通れなくなった橋数	橋	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
点検する橋数	橋	98.00 98.00	98.00 98.00	99.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	市が管理する橋梁です。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	道路橋としての安全性、信頼性の確保が求められています。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	目標どおりの進捗でした。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	予防的保全を行うことで事業費の削減になります。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	事業規模は適正です。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	老朽化する道路橋の増加に対応するため、予防保全による計画的な修繕を行い、長寿命化を図ることにより、費用の削減を図りつつ、引き続き地域の道路網の安全性・信頼性を確保する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351030 維持管理課地域整備係
事務事業 02768 道路施設管理事業

所属長名 早水 義朗
担当者 小笠原 武史
電話番号 0566-71-2274

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	003	5生活安全			
施策の方針	003	交通安全対策の実施			
事務事業	002	道路施設管理事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・道路施設維持管理事業 ・交通安全施設整備事業 ・道路維持修繕直接施工事業 令和3年度の組織改正により、土木課道路安全係から以下の事業を統合しています。 ・生活道路新設改良事業のうち道路側溝等の新設改良 ・通学路整備事業				

【事業分析】

対象	道路施設を通行及び使用する市民が
目的	道路施設の修繕等の維持管理を行うことにより安全で安心して通行できるようになります。
手段	道路施設の維持改良を工事発注及び現業職員による直接作業にて修繕を行います。
事務内容	町内会土木事業要望をもとに道路施設の維持改良工事の設計及び施工管理を行い、かつ現業職員による定期的な道路パトロール及び直接作業により適切な道路管理と街路樹の管理を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		698,888	616,907	957,311
事業費		629,588	541,307	858,311
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	842	812	870
	一般財源	628,746	540,495	857,441
人件費計		69,300	75,600	99,000
正規（人）		11.00	12.00	15.00
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	（舗装工）A=33,900㎡ （防護柵）L=213m （道路反射鏡）N=34基 （街路灯）N=2基 （区画線）L=20,060m	（舗装工）A=18,500㎡ （防護柵）L=199m （道路反射鏡）N=32基 （街路灯）N=3基 （区画線）L=35,418m	（側溝工）L=4,000m （舗装工）A=22,000㎡ （防護柵）L=200m （道路反射鏡）N=40基 （区画線）L=30,000m

事務事業評価シート（2 / 2）

2 頁
令和 3 年 8 月 17 日
15 時 47 分 52 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001351030 維持管理課地域整備係
事務事業 02768 道路施設管理事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
道路瑕疵事故の件数	件	0.00 1.00	0.00 3.00	0.00 0.00
道路施設に対する苦情・情報提供・要望に対する達成割合	%	100.00 96.00	100.00 97.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	道路施設には管理区分があり市道部施設の保守管理を行っています		
2	必要性	市民ニーズの有無	1
理由	市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である		
3	有効性	目標に対する進捗状況	2
理由	本事業は市民生活に直結しておりニーズは充分にあります。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	2
理由	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
理由	複数個所の工事発注をまとめることにより経費を抑えています。 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	町内会土木事業要望を基に、良好な道路環境の創出と通行者の安全を図るため、市内の道路施設の整備及び補修、街路樹の管理を進めています。限られた事業費を効率的に活用し、緊急性が高く簡易なものについては現業職員で施工し、大規模なものについては工事発注にて対応します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001351030 維持管理課地域整備係

事務事業 02775 通学路整備事業

所属長名 早水 義朗

担当者 小笠原 武史

電話番号 0566-71-2274

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	003	5 生活安全			
施策の方針	003	交通安全対策の実施			
事務事業	004	通学路整備事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	令和 3 年度の組織改正により、土木課道路安全係から維持管理課地域整備係の道路施設管理事業へ所管が替わり ました。				

【事業分析】

対象	通学路を通行する児童生徒が
目的	安全に登下校ができます。
手段	学校教育課及び各町内会から提出される通学路整備要望に対応し、道路路肩のグリーンライン、側溝改修、歩道 整備を実施します。
事務内容	通学路を整備し、安全対策を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		15,257	8,042	0
事業費		14,501	7,160	0
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	14,501	7,160	0
人件費計		756	882	0
	正規（人）	0.12	0.14	0.00
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	赤色路面塗装 263㎡ 緑色ライン塗装 1576m 側溝蓋設置延長 150m	赤色路面塗装 100㎡ 緑色ライン塗装 511m 側溝整備延長 52m	

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351030 維持管理課地域整備係
事務事業 02775 通学路整備事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
安全対策が図れた通学路の整備箇所数	箇所	19.00 19.00	10.00 10.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	通学路を整備し児童生徒の安全を確保することは安城市の責務です		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	町内会および小中学校からの要望に対応しています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	予定どおり進捗しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	グリーンラインを破線にすることで事業費を削減しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	他の自治体も同様の事業を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	最近の通学路における事故報告を踏まえ、通学路における安全対策の強化が必要です。また、今後は経年劣化による維持修繕が発生することから、事業の拡充が不可欠です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。